



しこく
四国財務局公式キャラクター

ニュースリリース

～四国とともに、未来をつむぐ～

四国財務局

令和6年3月12日

第80回 法人企業景気予測調査結果（四国地方の概要） （令和6年1～3月期調査）

企業の景況判断は4期ぶりに「下降」超

【景況判断】

全産業の景況判断BSI（1～3月期）については、引き続き原材料価格やエネルギー価格等の高騰による影響がみられること、住宅需要の減少や自動車向けの受注が減少していること、人流回復による利用客の増加に一服感がみられることなどから、▲7.4%ポイント（前回の2.7%ポイントから10.1%ポイント下降）となり、「下降」超に転じる。

先行き（翌期）については、原材料価格やエネルギー価格の高騰を懸念する声があるものの、価格転嫁の進展や外国人観光客の回復などを見通し、「上昇」超に転じる。

製造業：前回7.0%ポイント ⇒ 今回▲14.2%ポイント（21.2%ポイント下降、下降超に転じる）

「生産用機械」：原材料費、人件費、電気代等の高騰などから下降超となる。

「木材・木製品」：住宅需要の減少による住宅用木材の受注減少などから下降超となる。

「はん用機械」：自動車メーカーの工場停止に伴う受注減少などから下降超に転じる。

非製造業：前回0.4%ポイント ⇒ 今回▲3.8%ポイント（4.2%ポイント下降、下降超に転じる）

「宿泊、飲食サービス」：宿泊客の増加に一服感がみられることなどから下降超に転じる。

「農林水産」：円安による仕入価格の上昇やエネルギー価格の高騰などから下降超幅は拡大。

「建設」：原材料価格の高騰や住宅需要の減少などから下降超となる。

【従業員数判断】

全産業の従業員数判断BSI（1～3月期）については、退職者が出る一方で、募集しても人材が集まらないことなどから、35.8%ポイント（前回の33.4%ポイントから2.4%ポイント上昇）となり、「不足気味」超幅は横ばいで推移している。

先行き（翌期）については、新規採用や外国人労働者の活用などを見込む声はあるものの、引き続き横ばい圏内で推移する見通し。

【問い合わせ先】

四国財務局 財務広報相談室
四国財務局 経済調査課

TEL087-811-7780(内線260)
TEL087-811-7780(内線250)

